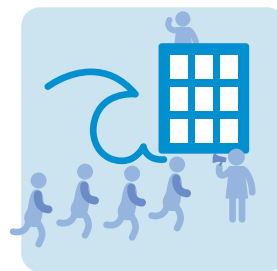


区民会議の提案を基に

区内の町内会・自治会の掲示板に「海拔表示板」が設置されます



審議テーマ：地域で身近な防災力

川崎市内で唯一、海に直接面した区である川崎区。

「海拔表示」の掲示は津波をはじめとする「水害」対策への区民の意識を高めることを目的に平成24年度内に区民会議から提案されました。

「海拔表示板」は、区民会議での討議結果を踏まえ、外国人市民にもわかりやすいように3ヶ国語（日本語、中国語、韓国・朝鮮語）併記で、設置地点の「海拔」と、最新の地震津波被害想定による「浸水深」（津波によって、その地点に到達すると想定されている津波の最大の高さ）が表示されます。

アクリルプレートで作成されたこの表示板は、町内会・自治会掲示板の柱部分等を中心に、順次設置予定です。



川崎区区民会議をもっと知りたい方へ

- お問合せは…事務局：川崎区役所まちづくり推進部企画課 〒210-8570 川崎区東田町8番地
電話 044-201-3267 FAX044-201-3209 E-mail:61kikaku@city.kawasaki.jp
- 「区民会議だより」「市政だより川崎区版」などにも情報を掲載しています。
- 区ホームページ内の「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点、資料、議事録、報告書などが掲載されています。
<http://www.city.kawasaki.jp/61/61kawasaku/kuminkaigi/index.html>
- 区民会議の全体会や部会の会議は傍聴することができます。ご興味のある方はぜひお越しください。（現時決まっている今後の会議日程は以下のとおりです。）

第2回 区民会議全体会
10月9日（水）18:30～
区役所7階会議室

第3回 みんなのまちづくり部会
9月26日（木）18:30～
区役所7階会議室

第3回 すこやか・共に生きる部会
9月24日（火）18:30～
区役所7階会議室

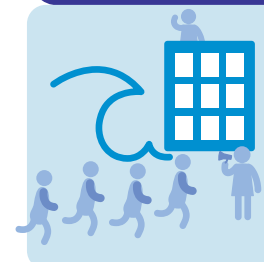
第4期 川崎区区民会議だより

2013年
18号

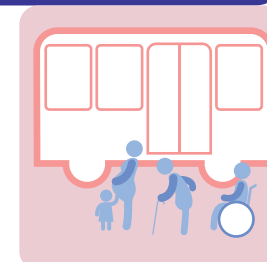


みんなのまちづくり部会審議テーマ

すこやか・共に生きる部会審議テーマ



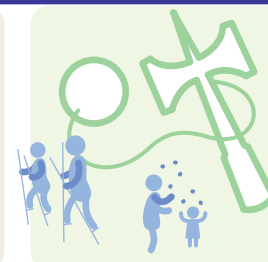
地域で身近な防災力



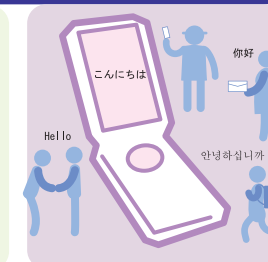
コミュニティバス導入の促進（観光と福祉の促進）



地域における健康の推進



子どもを地域で支える、子どもの生きる力



外国人市民も住みやすいまちづくり

「第4期川崎区区民会議」は、区内の市民活動団体や区長推薦、公募によって選ばれた20人の委員によって構成され、平成24年4月に活動をスタートしました。

地域防災やコミュニティバスをテーマとする「みんなのまちづくり部会」、健康の推進・子どもの健全育成や外国人市民などをテーマとする「すこやか・共に生きる部会」の二つの部会が立ち上げられ、川崎区の地域の課題を解決する提案を検討するための活発な討議が進められてきました。

「第4期川崎区区民会議」の委員の任期は2

年間で、平成26年3月末までとなっています。

今号では、任期終了に向けて、現在まとめられているこれまでの活動の総括や、地域課題の解決策の提案の内容・経過について、紹介します。

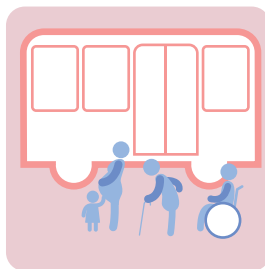
第4期川崎区区民会議の検討結果・成果を区民のみなさんに広くお知らせします。

川崎区区民会議フォーラム （予定）平成25年11月23日（土）午後 教育文化会館大会議室

詳細は未定です。決まりましたら、ホームページや次号の「区民会議だより」でお知らせいたします。たくさんの区民の方々の参加をお待ちしています。

みんなのまちづくり部会

委員：藍原晃（部会長）、赤間靖夫、新井一成、岩瀬絹代、木島千栄、戸村正房、寺尾宇一、藤岡玲子、吉野智佐雄、米山実、



審議テーマ：コミュニティバス導入の促進（観光と福祉の促進）

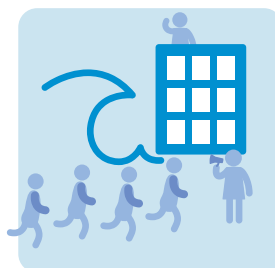
長年、区民会議のテーマとしても取り扱われてきた区内の南北の施設を直接結ぶバスルートについて、観光と福祉の視点を取り入れたコミュニティバスとしての必要性や実現の可能性について討議しています。

地域の利便性向上だけでなく、観光や福祉の視点を取り入れた回遊性の高い路線の導入の検討を行ってきました。

ただし、交通手段が絶対的に不足している「交通不便地域」は川崎区内にないこと、新規路線の設置には大きな費用がかかること、コミュニティバスの実現には当該地域の住民による運動が必要なことなどから、区民会議ができる提案として既存バスルートの変更案を



できあがった路線案等をバス事業者に打診することも検討しています。



審議テーマ：地域で身近な防災力

防災訓練の推進、防災知識を深めること、自助・共助意識の向上などを主眼に検討を進めています。特に川崎区は多くの外国人市民が居住しており、災害時は弱者となってしまう可能性があることから外国人市民を対象とした施策なども検討しています。

平成24年度中に提案をまとめた「海拔表示板」（4ページ参照）の他、区民の防災知識・意識を高める方法として、臨海部で進められている企業による防災の取組を知ってもらうための出前講座の開催などの提案がまとまっています。

また、津波避難訓練の事前・事後の広報活動の強化や外国人市民を対象とした避難訓練の実施などを検討しています。



すこやか・共に生きる部会

委員：石渡勝朗（部会長）、新井トキ子、小泉忠之、鈴木真、知念ジョアンナ、富田順人、秦琢二、原千代子、深澤香織、森脇卓郎



審議テーマ：地域における健康の推進

全国の中でも子どもの予防接種率が低いという課題を持つ川崎区。その原因を探ると共に、予防接種の重要性について理解を深めてもらう方法を探るため、保護者向けのアンケート調査を実施します。

部会での検討を重ね、各種予防接種の接種状況や、予防接種に関わる情報の入手方法、接種していない理由などを質問項目にしたアンケート調査票が完成。今後、区内の小学校6校と中学校3校を対象に調査を行います。



審議テーマ：子どもを地域で支える、子どもの生きる力

子どもを健全に育てていくためには、地域で子どもたちを支える環境が望ましいと考え、地域で子どもの育成支援を行っている団体同士の情報共有や連携を図れる仕組みを検討しています。

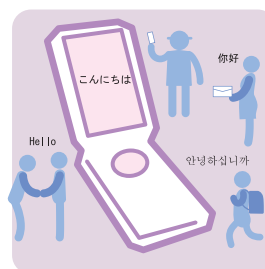
既存の活動団体が一堂に会して、情報などを共有する場の検討の他、地域の高齢者の特技や趣味を活かした世代間交流の取組なども検討しています。

試験的な取組として、囲碁を活用した企画を小泉委員が京町・田島地域で進めてみることになりました。なお、囲碁・将棋を活用した取組は大師地域などに成功例があります。

各委員の協力を得ながら、地域の大人と子ども達がまず顔見知りになることが、子どもを地域で支える第一歩と考えています。



第3期の提案だった「カローリング」の普及と推進は世代間交流にも役立っています。



審議テーマ：外国人市民も住みやすいまちづくり

川崎市内で最も外国人市民が多い川崎区で、外国人市民に必要な情報が的確に届く方法を検討しています。区役所の窓口で対応に困った事例等の情報収集を行い、課題解決を検討しています。

区役所等の窓口を設置する多言語に対応した問答集（Q&A）の作成や、麻生区役所で先例のあるTV通訳システムの導入などを検討してきました。外国人市民が感じている課題や要望についても、調査する計画を検討中です。